霊峰にいだかれ、歴史が連綿と流れ続けてきた世界遺産

59 高野山（こうやさん）

（和歌山県高野町）

注目 ポイント ！

○ 1200年の法灯を受け継ぐ霊場高野山を活かした観光地づくり。

○ 真言密教の歴史と文化を外国人に発信。

観光客数が約112万人（H10）から約123万人（H17）に！

外国人宿泊客数が約5,000人（H10）から約13,000人（H17）に！

高野山の風景

◇◇ コラム ◇◇

世界遺産登録後、欧米を中心に外国人観光客が大幅に増加している高野山。「高野山の自然、雰囲気すべてが大好き」と話すスイス出身のクルト･キュブリ氏。無量光院の役僧を務めるとともに、5ヵ国語に堪能で、外国人観光客･メディアの案内役もこなす。

クルト･キュブリ氏

これまでの経緯

平成　2年（1990）	電線類地中化事業を開始。
	国の重要文化財･伽藍不動堂不動明王坐像の修復が完了。
平成16年（2004）	「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録される。
平成17年（2005）	国の重要文化財･五坊寂静院阿弥陀如来及び両脇侍像の修復が完了。
	南海電鉄鋼索線高野山駅駅舎などが有形文化財に指定された。
平成18年（2006）	5カ国語（英･仏･中･韓･日）対応の音声ガイドシステムを導入。

※当該地域は「わたしの旅100選」（平成17年）として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

宿坊で体験観光

霊場高野山を実体験できるよう、山上の寺院に旅人を迎える宿坊がそれぞれ創意工夫をこらしている。修行僧が配膳する心づくしの精進料理、朝の勤行、写経･阿字観教室等、様々な体験メニューを提供。

精進料理を味わう

散策風景

高野山の散策ルート整備

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一つとして登録された高野山には、高野山町石道･高野三山･女人道など、古くから多くの巡礼者が歩いた道がある。地元観光協会は、案内標識を設置する等、散策コースとして整備。

観光ガイドシステムの導入

地元観光協会は、語り部が真言密教の聖地の歴史と文化を伝える音声ガイドシステムを導入。音声ガイドは、5カ国語対応（英語･仏語･中国語･韓国語･日本語）。また、ガイドブックも配布。

散策風景

高野山の特産づくり

古の人の知恵から生まれた「高野豆腐」や「ごまどうふ」、目に楽しく舌に美味しい精進料理など、高野特産の味がある。弘法大師が唐に留学した際に伝授されたといわれている胃腸薬、何種類もの薬草を使った漢方薬などの特産物の販売や新しいレシピの開発を行い、食の面からも高野山ブランドを確立。

ごまどうふ

みやげもの

問い合わせ先

○和歌山県観光連盟　Tel：073－422－4631
○高野町まちづくり推進課　Tel：0736－56－3000
○高野山観光協会　Tel：0736－56－2616